

(様式1)

## 平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 075	<b>提案機関名</b> 全農神奈川県本部 農産部
<b>要望問題名</b> 湘南ゴールドの栽培適地の選定ならびに栽培技術指導等について(継続)	
<b>要望問題の内容</b> 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 現在、「湘南ゴールド」のブランド化に向けた普及、産地化による生産量の拡大を進めているが、栽培環境により個体毎で果実品質に差が見受けられる。 早期着花技術及び栽培管理技術の指導、研究を引き続きお願いしたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	足柄地区事務所
<b>対応区分</b> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可			
<b>試験研究課題名</b> 湘南ゴールドの栽培技術の確立			
<b>対応の内容等</b> ご指摘頂いた要望課題については、上記課題の中で、高品質安定生産を目標に取り組んでいるところです。特に、集荷果実の秀優品率が低いことから、摘果方法及び障害果(ス上がり、さび症等)の対策に重点を置いて取り組み、これまで得られた結果も含め、順次情報提供してまいりたいと考えております。なお、早期着花技術については、幼木期の夏枝を健全に保つことによる早期着花を目的に、当所で幼木(カラタチ台)に対する7～9月のミカンハモグリガの定期的な防除及び尿素の定期的な葉面散布を2か年実施しましたが効果が見られず、他の対策手法について、準備、検討をしているところです。また、現在、早期成園技術として、広島型主幹形の湘南ゴールドへの応用に取り組んでいるところです。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
<b>備考</b>			